



2020年7月1日

株式会社 リクルート ライフスタイル

東北在住者2,065人の声をもとに決定！
「『関東・東北じゃらん』人気観光地ランキング2020」
東北エリア調査結果発表

宿泊旅行で行って良かった観光地、1位は「秋保」2位「会津若松」3位「鶴岡・湯野浜・あつみ」

株式会社リクルートライフスタイル（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：浅野 健）が企画・編集する旅行情報誌『関東・東北じゃらん』（編集長：西 尚子）は、東北在住2,065人を対象に東北6県の観光地に関するアンケートを実施しましたので、その結果をご報告します。

※結果の一部は、2020年7月1日（水）発売の『関東・東北じゃらん』8月号でも紹介します。

※お出かけの際には、自治体のホームページなどで最新の情報をご確認ください。また、新型コロナウイルス感染症拡大の防止に十分ご配慮いただくようお願いいたします。

結果要約

● 宿泊旅行で行って良かった観光地ランキング

～2019年に宿泊旅行で訪れたことがある、「行って良かった」観光地～

- 第1位 「秋保」（宮城県）
- 第2位 「会津若松」（福島県）
- 第3位 「鶴岡・湯野浜・あつみ」（山形県）

…新たな観光名所やグルメスポットが増えている観光地が高い満足度に。

● 宿泊旅行で行った観光地ランキング

～2019年に宿泊旅行で訪れたことがある観光地～

- 第1位 「仙台」（宮城県）
- 第2位 「秋保」（宮城県）
- 第3位 「盛岡」（岩手県）

…周辺観光地への交通アクセスが良い「市街地」や「温泉地」が選ばれています。

● 日帰り旅行で行って良かった観光地ランキング

～2019年に日帰りで訪れたことがある、「行って良かった」観光地～

- 第1位 「奥入瀬渓流・十和田湖」（青森県）
- 第2位 「田沢湖・角館」（秋田県）
- 第3位 「鳴子」（宮城県）

…桜、新緑、紅葉など、季節ごとの感動絶景が待っている大自然エリアが上位に。

● 日帰り旅行で行った観光地ランキング

～2019年に日帰りで訪れたことがある観光地～

- 第1位 「仙台」（宮城県）
- 第2位 「松島」（宮城県）
- 第3位 「盛岡」（岩手県）

…ショッピングやグルメスポットに強い市街地の中でも「話題性」がポイントに。

● 今年行きたい観光地ランキング

～2020年に旅行で行きたいと思う観光地～

- 第1位 「仙台」（宮城県）
- 第2位 「奥入瀬渓流・十和田湖」（青森県）
- 第3位 「秋保」（宮城県）

…一度は訪れたい有名観光地が2020年も根強い人気です。

【本件に関するお問い合わせ先】

<https://www.recruit-lifestyle.co.jp/support/press>

調査概要と回答者プロフィール

【調査概要】

◎調査時期：【事前調査】2020年1月29日（水）～2月3日（月）

【本調査】2020年1月30日（木）～2月3日（月）

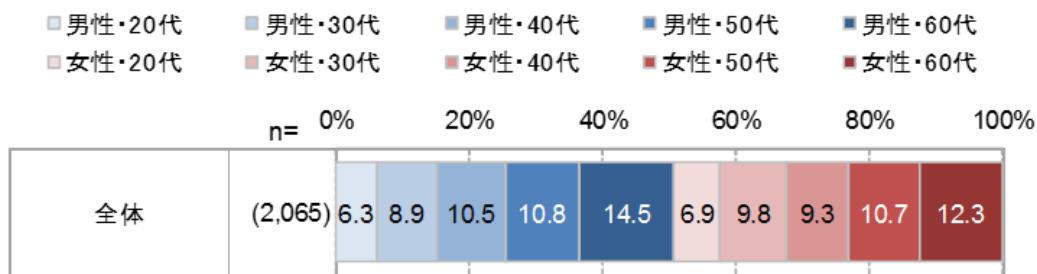
◎調査対象：マクロミルモニター 20歳～69歳の男女

◎調査方法：インターネットリサーチ

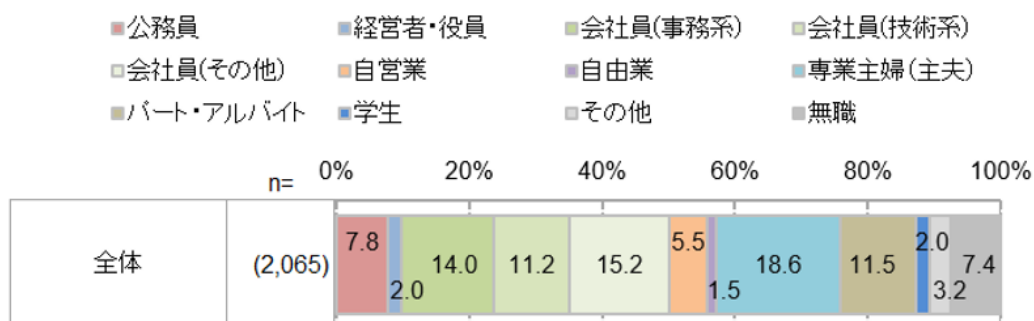
◎有効回答数：2,065人（東北在住者）

◎対象観光地：青森県、岩手県、秋田県、宮城県、山形県、福島県の6県から、計83の観光地を選択肢として設定（対象観光地名は6ページ参照）

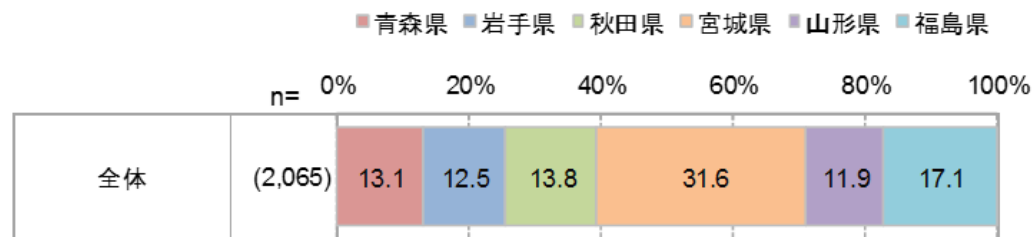
■性別×年齢



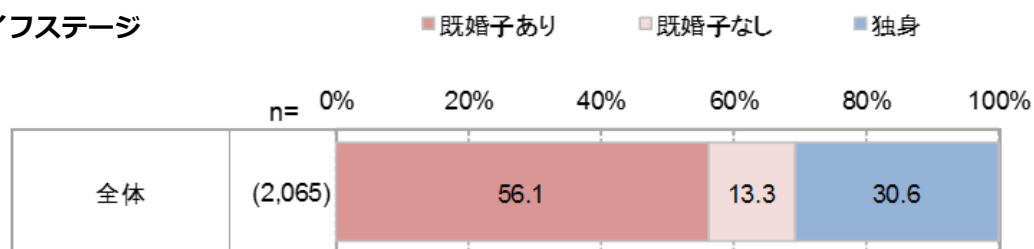
■職業



■居住地



■ライフステージ



※±0.1は許容差

宿泊旅行で行って良かった観光地

～2019年に宿泊旅行で訪れたことがある、
「行って良かった」観光地～

■『関東・東北じゃらん』編集部が解説

東北を代表する有名観光地・施設が上位に

2019年に宿泊旅行で訪れた「行って良かった」観光地を聞いたところ、「秋保」（宮城県）が1位、2位に「会津若松」（福島県）、3位と4位はほぼ同率で「鶴岡・湯野浜・あつみ」（山形県）、奥入瀬溪流・十和田湖（青森県）が並びました。いつか行きたい有名観光地や有名施設の魅力に加え、温泉地を伴うエリア、そして近年おしゃれな飲食店が増えていたり、酒蔵めぐりなどの新たな楽しみ方が進化しているエリアが選ばれました。

(各観光地に宿泊で訪れた人ベース)

順位	観光地名		%
1	秋保	宮城県	73.1
2	会津若松	福島県	69.3
3	鶴岡・湯野浜・あつみ	山形県	67.9
4	奥入瀬溪流・十和田湖	青森県	67.5
5	田沢湖・角館	秋田県	67.3
6	鳴子	宮城県	67.1
6	松島	宮城県	67.1
8	仙台	宮城県	65.8
9	青森・浅虫	青森県	65.6
10	裏磐梯（五色沼・磐梯高原）	福島県	64.1
11	喜多方	福島県	62.7
11	下北半島	青森県	62.7
13	八戸	青森県	62.4
14	弘前	青森県	62.0
15	男鹿半島	秋田県	61.1
16	花巻	岩手県	60.4
17	安比高原	岩手県	60.0
17	平泉・一関	岩手県	60.0
19	福島・飯坂・土湯・高湯	福島県	59.1
20	蔵王・遠刈田	宮城県	58.3

宿泊旅行で行った観光地

～2019年に宿泊旅行で
訪れたことがある観光地～

■『関東・東北じゃらん』編集部が解説

宿泊先は「市街地」とその周辺エリアが人気

宿泊エリアに選ばれた観光地は、グルメや買い物などが楽しめる各県の「市街地」と、そこから交通の便が良い都市部近郊の「温泉地」が上位を占める結果になりました。どの市街地も他エリアへのアクセスが良く、1泊2日、2泊3日と限られたなかで、いくつもの観光地を欲張りに巡れる拠点となっていることが人気の理由と考えられます。また、ホテルのニューオープンが続くなど、選択肢が多いことも挙げられます。

(宿泊旅行実施者 n=1,672人/複数回答)

順位	観光地名		%
1	仙台	宮城県	34.0
2	秋保	宮城県	18.7
3	盛岡	岩手県	18.4
4	松島	宮城県	17.8
5	福島・飯坂・土湯・高湯	福島県	13.8
6	花巻	岩手県	13.5
7	会津若松	福島県	11.9
8	秋田	秋田県	10.5
9	山形・山寺	山形県	10.3
10	平泉・一関	岩手県	9.9
10	鶴岡・湯野浜・あつみ	山形県	9.9
12	弘前	青森県	9.4
13	田沢湖・角館	秋田県	9.3
13	蔵王・遠刈田	宮城県	9.3
15	青森・浅虫	青森県	9.2
16	鳴子	宮城県	8.7
17	八戸	青森県	8.0
18	雫石・つなぎ・鶯宿	岩手県	7.9
19	米沢	山形県	7.8
20	天童	山形県	7.6

※来訪者数が60人未満の観光地は除外

日帰り旅行で行って良かった観光地

～2019年に日帰りで訪れたことがある、
「行って良かった」観光地～

■『関東・東北じゃらん』編集部が解説

日帰りのキーワードは「大自然」

2019年に日帰りで訪れたことがある「行って良かった」観光地を聞いたところ、「奥入瀬溪流・十和田湖」（青森県）が1位、2位に「田沢湖・角館」（秋田県）、3位に「鳴子」（宮城県）と上位にランクインした観光地は「大自然」を有することが人気の理由と言えそうです。

特に「桜」「新緑」「紅葉」など、季節ごとにさまざまな絶景を見せてくれる名所が、何度訪れても感動できるエリアとして行き先に挙がりました。

(各観光地に日帰りで訪れた人ベース)

順位	観光地名		%
1	奥入瀬溪流・十和田湖	青森県	64.0
2	田沢湖・角館	秋田県	63.8
3	鳴子	宮城県	62.5
4	松島	宮城県	62.4
5	雫石・つなぎ・鶯宿	岩手県	61.1
6	八戸	青森県	60.8
7	男鹿半島	秋田県	60.0
8	喜多方	福島県	59.4
9	弘前	青森県	58.9
10	秋保	宮城県	58.8
11	八甲田	青森県	58.2
11	鶴岡・湯野浜・あつみ	山形県	58.2
13	裏磐梯（五色沼・磐梯高原）	福島県	58.1
14	花巻	岩手県	57.9
15	仙台	宮城県	56.1
15	下北半島	青森県	56.1
17	気仙沼	宮城県	55.8
18	二本松・岳	福島県	54.8
19	青森・浅虫	青森県	54.7
20	平泉・一関	岩手県	54.1

日帰り旅行で行った観光地

～2019年に日帰りで
訪れたことがある観光地～

■『関東・東北じゃらん』編集部が解説

「市街地」が根強い人気

日帰りで訪れたことがある観光地を聞いたところ、宿泊旅行と同じく、グルメやショッピングの観光が一度に楽しめる「市街地」エリアが人気に。訪れるたびに新しいお店が増えている東北の中心「仙台」（宮城県）や、裏路地に注目が集まっている絶景観光地の「松島」（宮城県）、駅前周辺に新名所が誕生している「盛岡」（岩手県）など、話題性に事欠かないエリアが根強い人気といえそうです。そのほか、都市部からアクセスの良い自然にあふれた観光地が選ばれています。

(日帰り旅行実施者 n=1,673人/複数回答)

順位	観光地名		%
1	仙台	宮城県	35.9
2	松島	宮城県	18.6
3	盛岡	岩手県	18.1
4	秋保	宮城県	16.3
5	福島・飯坂・土湯・高湯	福島県	15.2
6	山形・山寺	山形県	12.3
7	会津若松	福島県	10.6
8	蔵王・遠刈田	宮城県	10.2
8	塩竈	宮城県	10.2
10	田沢湖・角館	秋田県	9.7
11	平泉・一関	岩手県	9.5
12	弘前	青森県	9.4
13	花巻	岩手県	9.1
13	米沢	山形県	9.1
15	天童	山形県	8.7
15	猪苗代・表磐梯	福島県	8.7
17	青森・浅虫	青森県	8.2
17	郡山・須賀川	福島県	8.2
19	秋田	秋田県	8.1
19	鳴子	宮城県	8.1

※来訪者数が60人未満の観光地は除外

今年行きたい観光地

～2020年に旅行で行きたいと思う観光地～

■『関東・東北じゃらん』編集部が解説

「有名観光地」の新たな魅力に注目

2020年に行きたいと思う観光地では、何度訪れても楽しめる「仙台」（宮城県）が1位。一度は行きたい憧れのエリアとしても有名な「奥入瀬溪流・十和田湖」（青森県）が2位の結果に。レトロな街並みが人気の「会津若松」（福島県）やSNS映えスポットが豊富にある「男鹿半島」（秋田県）は注目度が高まっています。

（全体 n=2,065人／複数回答）

順位	観光地名		%
1	仙台	宮城県	26.4
2	奥入瀬溪流・十和田湖	青森県	20.5
3	秋保	宮城県	18.7
4	松島	宮城県	18.2
5	会津若松	福島県	15.1
6	男鹿半島	秋田県	14.9
7	弘前	青森県	14.4
8	盛岡	岩手県	14.2
9	平泉・一関	岩手県	14.0
10	田沢湖・角館	秋田県	13.9
11	銀山	山形県	13.8
12	山形・山寺	山形県	12.9
13	青森・浅虫	青森県	12.6
14	喜多方	福島県	11.9
15	鶴岡・湯野浜・あつみ	山形県	11.7
16	福島・飯坂・土湯・高湯	福島県	11.5
17	裏磐梯（五色沼・磐梯高原）	福島県	11.1
18	蔵王・遠刈田	宮城県	10.9
19	白神山地（青森県側：十二湖など）	青森県	10.7
19	鳴子	宮城県	10.7
19	猪苗代・表磐梯	福島県	10.7

■調査対象の観光地一覧（東北の83スポット）

【青森県】

下北半島
青森・浅虫
八甲田
津軽半島
弘前
八戸
三沢
奥入瀬溪流・十和田湖
津軽西海岸（五能線・深浦・鱒ヶ沢など）
白神山地（青森県側：十二湖など）

【岩手県】

久慈
岩泉（龍泉洞）
宮古
釜石
大船渡・陸前高田
安比高原
松尾八幡平
二戸
雫石・つなぎ・鶯宿
盛岡
花巻
遠野
北上・湯田
奥州・水沢・江刺
平泉・一関

【秋田県】

白神山地（秋田県側：田苗代湿原など）
男鹿半島
阿仁・森吉山
田沢湖・角館
大仙・大曲
鹿角八幡平
大館
秋田
鳥海山
栗駒山（秋田）
横手・十文字・湯沢

【宮城県】

仙台
秋保
作並
松島
塩竈
石巻・田代島
女川・牡鹿
気仙沼
栗原・登米
名取・岩沼
白石
蔵王・遠刈田
亘理・山元
鳴子

【山形県】

山形・山寺
上山
天童
寒河江
東根・村山
月山・出羽三山
鶴岡・湯野浜・あつみ
酒田
新庄・最上・肘折
山形蔵王
銀山
南陽・赤湯・高畠
米沢
長井
小国

【福島県】

福島・飯坂・土湯・高湯
郡山・須賀川
磐梯熱海
白河・羽鳥湖
二本松・岳
相馬
南相馬
いわき
猪苗代・表磐梯
裏磐梯（五色沼・磐梯高原）
会津若松
喜多方
柳津・西会津
会津高原・湯野上・南会津
檜枝岐・尾瀬
奥会津
棚倉・東白川
田村・三春